竹林の風

～ すべては学校のため　すべては子どもたちのため ～

栃木県教育委員会事務局
河内教育事務所
令和７年１０月２日
発行責任者　黒須親章
http://www.pref.tochigi.lg.jp/m51/
kawachi-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

第８２号

インクルーシブ教育エリアコーディネーター派遣事業について

河内地区におけるインクルーシブ教育システムの更なる充実を図るため、今年度、河内教育事務所にインクルーシブ教育エリアコーディネーター（※以降エリア Co）が１名配置されました。県は、インクルーシブ教育の推進を通して「どの学校でも教育的ニーズに的確に応える指導を提供できること」、「地域で子どもを育てていくこと」、「共生社会の実現」を目指しております。エリア Co は、各学校が県の目指す方向性を踏まえ、より豊かな教育を実現していくための環境づくりのお手伝いをします。

具体的な取組内容は、「学校巡回訪問」「中・高連絡協議会」「研修会」の３つです。今回は、「学校巡回訪問」についてお伝えするとともに、河内地区のエリア Co を御紹介します。

【学校巡回訪問】

○　取組の概要

主に通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒への指導支援及び校内支援体制の構築などについて助言等を行うことにより、各校のインクルーシブ教育システムの充実を図る。内容は、職員への講話や特別支援教育 Co との話合い、個別の児童生徒の指導支援に係る話合い、学習・行動面で困難を示す児童生徒が在籍する学級の授業研究等で、学校の要望に応じて柔軟に実施している。

○　これまでの実績（９月末時点）

- 小学校 19 回（13 校）、中学校２回（２校）
- 講話のテーマ等

通常の学級における特別支援教育の推進～インクルーシブ教育システムの構築に向けて～
・学級集団づくり　・困っている児童生徒の理解と対応
・障害による困難の主体的な改善・克服　・保護者との連携　など

- ケース会議への参加

・授業中に落ち着かない子どもの理解と対応について
・衝動性が強い子どもの理解と対応について　など

【河内地区のインクルーシブ教育エリアコーディネーターはどんな人？】

名前は「小野　幸男（おの　さちお）」です。特別支援学校の教諭として様々な学校に勤務し、県教育委員会事務局特別支援教育室指導主事や同室長、県総合教育センター教育相談部長、県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園校長、県立のざわ特別支援学校長を歴任しました。定年退職後は、河内教育事務所でスクールサポーターを２年勤め、今年度から河内地区のインクルーシブ教育エリアコーディネーターに就任しました。

【申込方法】

新たに学校巡回訪問の実施を希望する場合、宇都宮市の学校は「宇都宮市教育センター教育相談グループ」へ、上三川町の学校は「上三川町教育委員会教育総務課」へ相談してください。

河内教育事務所 HP も御覧ください。「竹林の風」バックナンバーも掲載しています。